

Kansai Economic Insight Monthly

2018/4/24

Vol.60 March/April

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第4週を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔(APIR 調査役)・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰(各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドとCI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	10
主要月次統計	14
Release Calendar	15

要 旨

-景気は足下停滞気味、先行きは悪化の兆し※-

- ✓ 2月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりの前月比プラスだが、1-2月平均は10-12月平均比で大幅下落した。なお、近畿経産局は基調判断を「持ち直しの動きで推移」と前月から据え置いた。
- ✓ 3月の貿易収支は2カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年比大幅拡大した。原動機と半導体等電子部品の貢献により輸出が伸び、一方、輸入が13カ月ぶりに減少したため。
- ✓ 3月の景気ウォッチャー現状判断DIは3カ月連続で前月比悪化。インバウンド需要や春物商材の販売は好調だったが、円高・株安の影響から消費マインドは悪化した。
- ✓ 1月の関西主要府県(大阪府・兵庫県)の現金給与総額は一定の改善が見られるが、足下物価の上昇が続いており、実質賃金の伸びは停滞している。先行きには依然注意が必要である。
- ✓ 天候不順の影響で、2月の大型小売店販売額は4カ月ぶりの前年比マイナス。野菜価格高騰でスーパーの販売額は増えたが、春物衣料需要低下のため、百貨店の販売額は減少した。
- ✓ 分譲の好調の影響で、2月の新設住宅着工戸数は前年比大幅に増加し、6カ月ぶりのプラス。
- ✓ 2月の有効求人倍率は前月比横ばい。完全失業率は2カ月ぶりに悪化したものの、雇用環境は引き続き堅調である。
- ✓ 3月の公共工事請負金額(季節調整値)は前月比大幅増加し、4カ月ぶりのプラス。結果、1-3月期は2四半期連続の前期比プラスとなった。
- ✓ 2月の建設工事出来高は3カ月ぶりの前年比減少。関西ではオリンピック・パラリンピックの影響は見られず、伸びは低調である。
- ✓ 3月の関空への訪日外客数は13カ月連続で前年比増加。また、12カ月連続で2桁増が続いており依然好調である。
- ✓ 中国の実質GDPは、2018年1-3月期に前年同期比+6.8%成長した。17年7-9月期以来、三四半期連続で同じ伸び。2018年の政府目標である6.5%成長を上回った。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦関西学院大学教授)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。
関西全体のCI, 試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

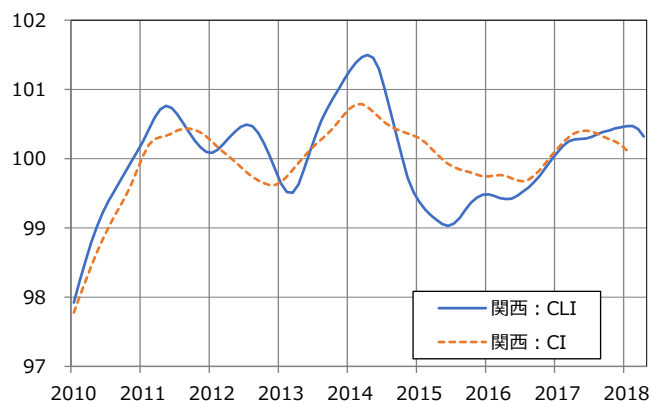
	2017年										2018年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生産	➡	↗	↘	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↗	
貿易	➡	➡	➡	➡	➡	↗	↗	➡	↗	➡	↗	↘	↗
センチメント	↘	➡	↗	↗	➡	↘	➡	↗	↗	↗	↘	↘	➡
消費	↘	➡	➡	➡	➡	➡	↗	➡	↗	➡	➡	➡	
住宅	➡	↘	➡	↘	➡	➡	➡	➡	➡	↘	↘	↗	
雇用	➡	↗	↗	↗	↗	➡	↗	↗	↗	↗	↗	➡	
公共工事	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	➡	↗	↘	➡
中国	↗	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡

(※トレンドの判断基準)

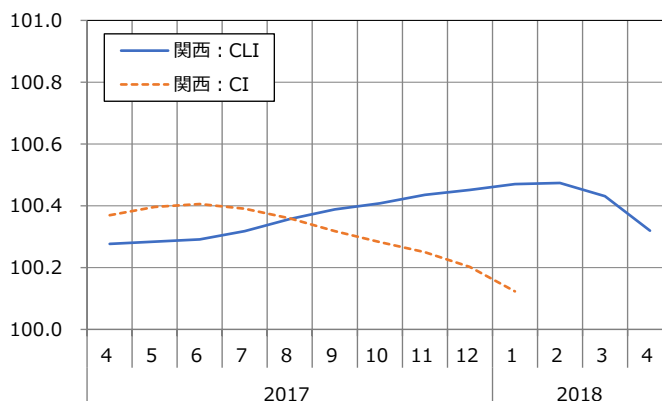
- ・**生産**: 近畿経済産業局『近畿地域鉱工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**貿易**: 大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**センチメント**: 内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**消費**: 近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**住宅**: 国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**雇用**: 厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・**公共工事**: 西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2010年1月～2018年4月)



直近1年間の CI・CLI の推移(2017年4月～2018年4月)



【鉱工業生産動向】

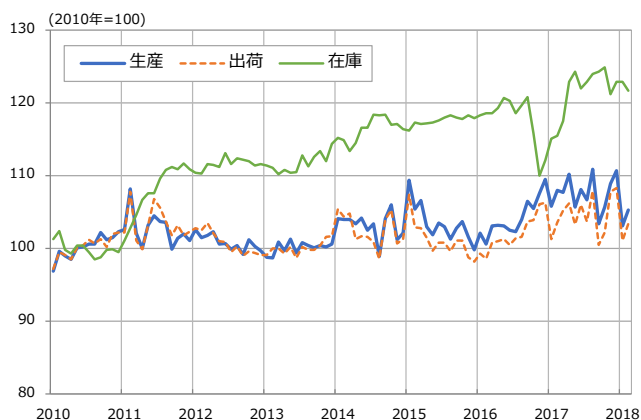
(1) 関西の生産動向

関西 2 月の鉱工業生産動向(速報値：季節調整済、2010 年=100)によれば、生産は 105.3 で、前月比+2.1%と 2 カ月ぶりの上昇。出荷は 103.4 で同+2.3%と 2 カ月ぶりの上昇。在庫は 121.7 で同-1.0%と 3 カ月ぶりに低下した。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2015 年=100)を見ると、2 月(確報値)は 111.0 で、同-2.9%と 3 カ月連続で下落した。3 月(速報値)は 115.1 で、同+3.7%と上昇した。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(前月比+6.8%、3 カ月ぶり)、化学(除、医薬品)(同+3.7%、2 カ月ぶり)、情報通信機械(同+11.5%、3 カ月ぶり)、輸送機械工業(除、航空機・船舶・鉄道車両)(同+5.2%、2 カ月ぶり)等が増産となった。一方、電気機械(同-9.3%、2 カ月ぶり)、金属製品(同-7.6%、2 カ月連続)、電子部品・デバイス(同-4.9%、2 カ月連続)が減産となった。

結果、1-2 月平均(生産)は 10-12 月平均比-3.9%と大幅下落した(10-12 月期は前期比+1.3%)。近畿経済産業局は同月の基調判断を「総じてみれば、生産は持ち直しの動きで推移している」と前月から据え置いた。しかし、1-3 月期の実質輸出は 3 四半期ぶりの前期比マイナスとなっており、同期の生産はあまり期待できない。

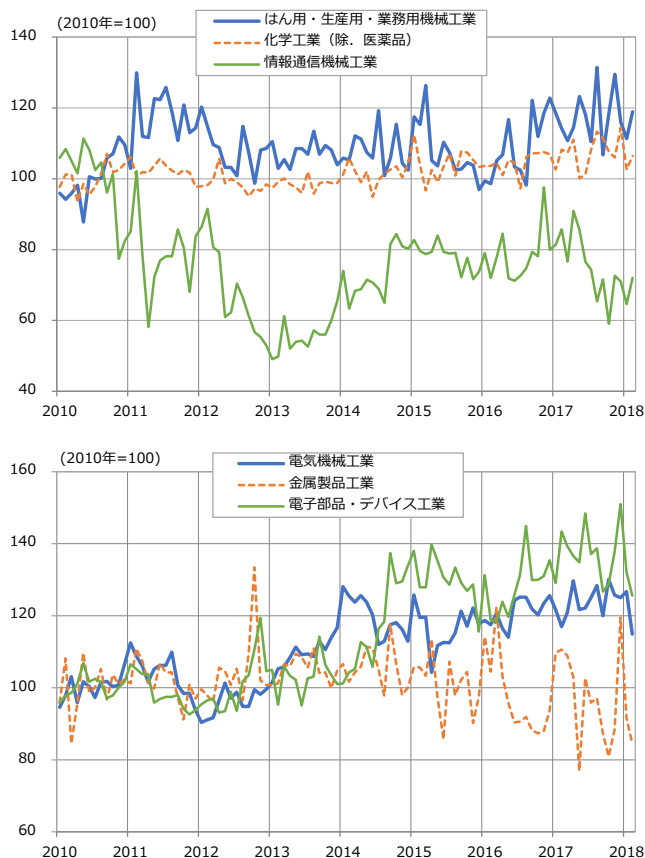
関西の鉱工業生産動向の推移(2010 年 1 月～2018 年 2 月)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

関西の業種別生産指数の推移(2010 年 1 月～2018 年 2 月)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

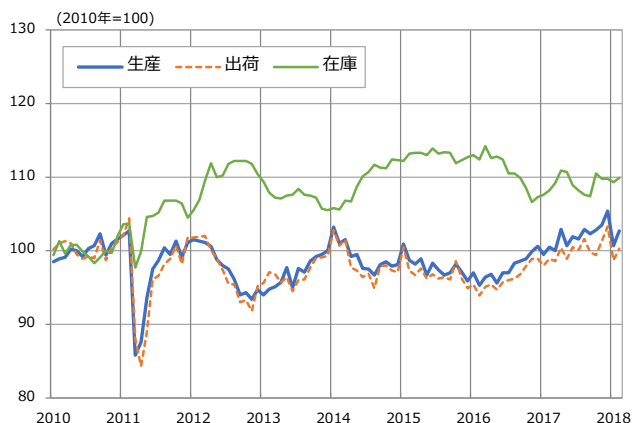
(2) 全国の生産動向

全国 2 月の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010 年=100)を見ると、生産は 102.7 となり前月比+2.0%上昇。出荷は 100.3 で同+1.6%上昇。在庫は 109.9 となり同+0.5%上昇。いずれも 2 カ月ぶりのプラスとなった。

業種別にみると、輸送機械(前月比+9.6%)、電子部品・デバイス(同+4.7%)、はん用・生産用・業務用機械(同+2.2%)等が増産となった。一方、石油・石炭製品(同-2.7%)、化学(同-0.2%)、窯業・土石製品(同-0.8%)等が減産となった。

製造工業生産予測調査(速報値ベース)によると、3 月は前月比+0.9%、4 月は同+5.2%と増産が予測されている。予測が実現すれば、1-3 月期の生産は前期比-1.5%となり、8 四半期ぶりの減産となろう。

全国の鉱工業指数の推移(2010年1月～2018年1月)



(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

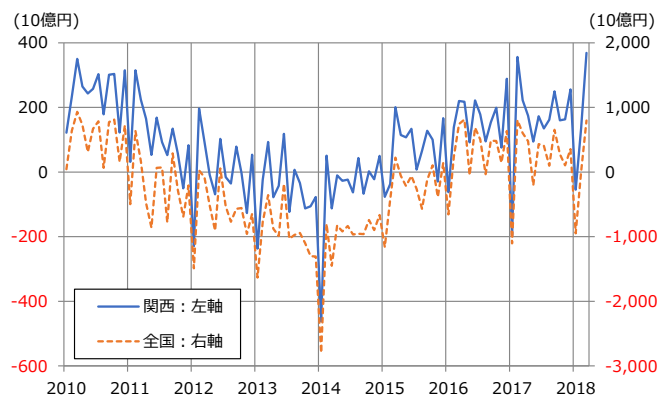
【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西 3 月の貿易収支は +3,685 億円と 2 カ月連続の黒字となった。黒字幅は前年同月(+2,223 億円)と比べて+65.8%大幅拡大した。輸出額が上昇し、輸入額が 13 カ月ぶりに減少したため。

また、全国 3 月の貿易収支(速報値)は、7,973 億円と 2 カ月連続の黒字となった。黒字の伸び率は前年同月比 +32.1%と 6 カ月ぶりに拡大した。

関西・全国の貿易収支の推移(2010年1月～2018年3月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(2) 輸出

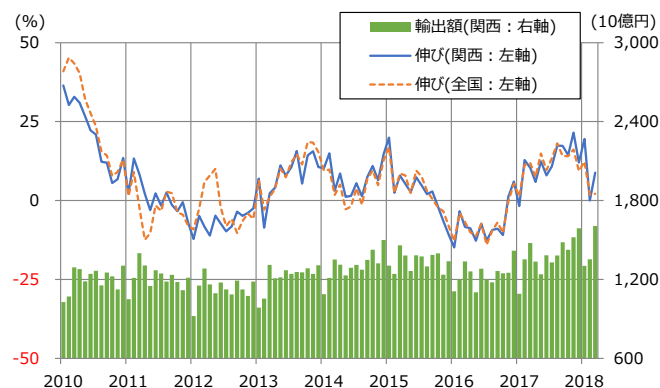
関西 3 月の輸出額(速報値)は 1 兆 6,068 億円で前年同月比+8.8%と 2 カ月ぶりの上昇。財別に見れば、原動機(過去

最高額)、半導体等電子部品(単月過去最高額)等が増加した。主に中国向けに半導体関連が伸びた。

なお、日銀の実質輸出(季節調整値, 2015 年平均=100)によると、3 月は 115.1 となり、前月比+3.7%上昇した。4 カ月ぶりのプラス。結果、1-3 月期の実質輸出は、前期比 -0.2%低下し、3 四半期ぶりのマイナス。

全国 3 月の輸出額(速報値)は 7 兆 3,819 億円で、前年同月比+2.1%と 16 カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、半導体等製造装置、金属加工機械等が増加した。

関西・全国の輸出の推移(2010年1月～2018年3月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

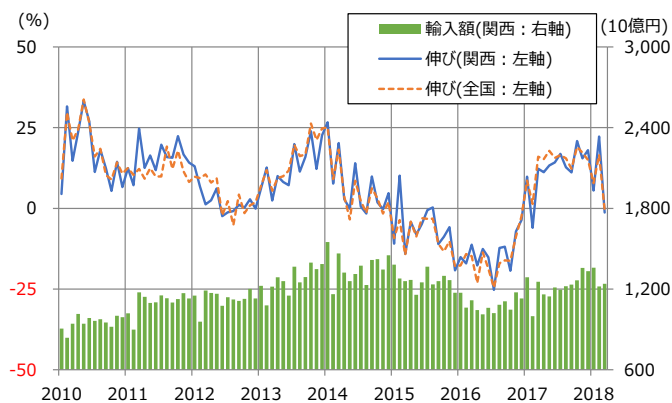
(3) 輸入

関西 3 月の輸入額(速報値)は 1 兆 2,383 円、伸びは前年同月比-1.3%と 13 カ月ぶりの減少。財別に見れば、衣類及び同附属品、石炭等が減少した。

なお、日銀の実質輸入(季節調整値, 2015 年平均=100)によると、3 月は 101.7 となり、前月比-11.4%大幅低下した。2 カ月ぶりのマイナス。結果、1-3 月期の実質輸入は、前期比-0.6%低下し、6 四半期ぶりのマイナス。

全国 3 月の輸入額(速報値)は 6 兆 5,845 億円で、前年同月比-0.6%と 15 カ月ぶりの減少。財別に見れば、衣類・同附属品、石炭、魚介類等が減少した。

関西・全国の輸入の推移(2010年1月～2018年3月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(4) 関西の地域別貿易

関西3月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア(含中国)の貿易収支は+4,240億円と14カ月連続の黒字であり、黒字幅は前年同月比+54.1%拡大した。輸出(1兆849億円)は2カ月ぶりの増加(同+10.1%)。財別に見れば、半導体等電子部品、原動機等が増加した。輸入(6,609億円)は13カ月ぶりの減少(同-6.9%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、織物用糸及び繊維製品等が減少した。

うち、対中貿易収支は682億円と13カ月ぶりに黒字となった(前年同月差+1,260億円)。輸出(4,179億円)は2カ月ぶりの増加(前年同月比+18.1%)。財別に見ると、半導体等電子部品、半導体等製造装置等が増加した。輸入(3,497億円)は2カ月ぶりの減少(同-15.1%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、家庭用電気機器等が減少した。

対米貿易収支は+871億円の黒字となったが、黒字幅は2カ月連続で前年比縮小した(-2.0%)。輸出(2,050億円)は11カ月ぶりの減少(同-6.0%)。財別に見れば、有機化合物、電気計測機器等が減少した。輸入(1,179億円)は16カ月ぶりの減少(同-8.8%)。財別に見れば、石炭、原油及び粗油等が減少した。

対EU貿易収支は+155億円と2カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年比大幅拡大した(+205.6%)。輸出(1,759億円)は11カ月連続の増加(同+21.1%)。財別に見れば、建設用・鉱山用機械、有機化合物等が増加した。輸入(1,604億

円)は13カ月連続の増加(同+14.4%)。財別に見れば、医薬品、非鉄金属等が増加した。

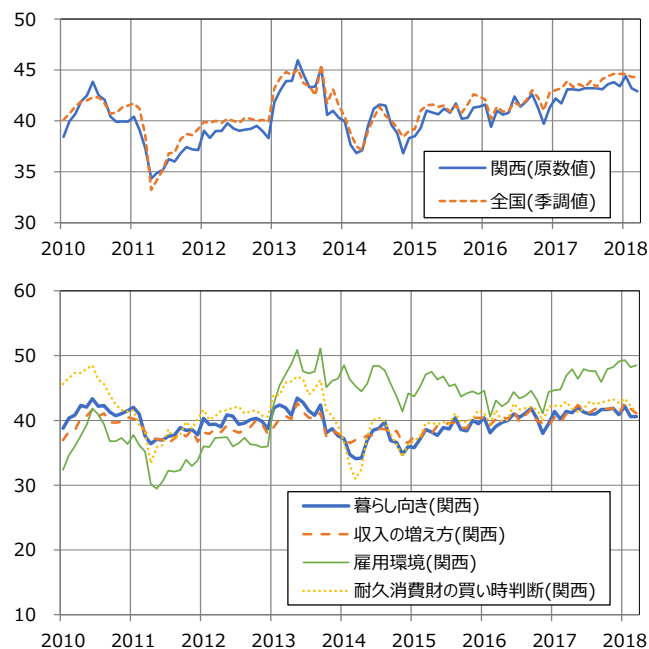
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西3月の消費者態度指数(原数値)は42.9と前月比-0.3ポイント低下し、2カ月連続で悪化した。また、同指数構成項目のうち、「雇用環境」のみ同+0.3ポイントと2カ月ぶりの上昇。一方、「耐久消費財の買い時判断」は同-0.9ポイント、「収入の増え方」は同-0.7ポイントと、それぞれ2カ月連続で下落。なお、「暮らし向き」は同横ばいであった。

また、全国(季節調整値)は44.3と前月比横ばいであった。同指数構成項目を見ると、「雇用環境」は同+0.2ポイントと2カ月ぶり、「耐久消費財の買い時判断」は同+0.1ポイントと4カ月ぶり、それぞれ上昇した。一方、「収入の増え方」は同-0.5ポイントと7カ月ぶり、「暮らし向き」は同-0.1ポイントと4カ月連続で、それぞれ下落した。雇用情勢が改善した一方で、電気・ガス料金などが値上がりしたことから、消費者心理が悪化したとみられる。内閣府は基調判断を「足踏みが見られる」として据え置いた。

消費者態度指数の推移(2010年1月～2018年3月)



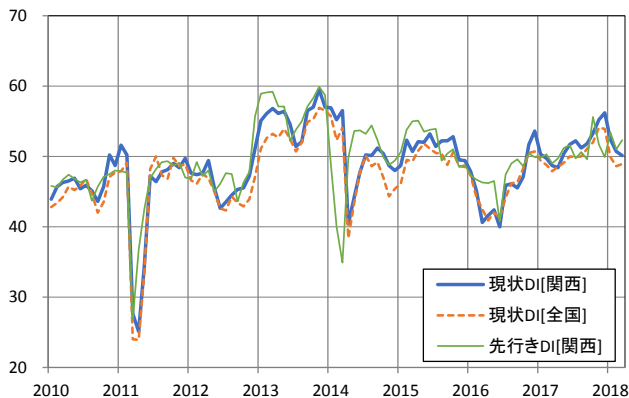
(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西 3 月の景気ウォッチャー現状判断 DI(季節調整値)は 50.1 と前月比-0.6 ポイント低下し、3 カ月連続の悪化となったが、景況感の良し悪しの分かれ目となる 50 は 11 カ月連続で上回った。関西では、インバウンド消費が引き続き堅調であることに加え、気温が高めに推移したことから、春物商材の売れ行きが好調だった。しかし、円高・株安が進んだことで高額消費が鈍化し、消費マインドの悪化に寄与したとみられる。全国の同指数は 48.9 と同+0.3 ポイント小幅上昇し、4 カ月ぶりの改善となったものの、3 カ月連続で 50 を下回る状態が続いている。

一方、先行き判断 DI(季節調整値)は、関西では 52.3 と前月比+1.3 ポイント上昇し、2 カ月ぶりの改善。引き続きインバウンド消費が好調に推移するとみられるほか、野菜価格上昇の落ち着き、賃上げによる消費増への期待などから、先行き見通しは改善した。一方、全国は同-1.8 ポイント下落し 49.6 となり、5 カ月連続で悪化。11 カ月ぶりに 50 を下回った。

景気ウォッチャー調査の推移(2010 年 1 月～2018 年 3 月)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

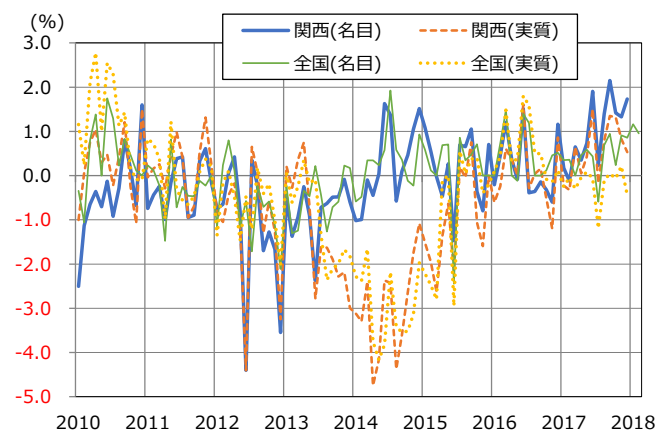
(1) 現金給与総額

全国値(確報値)は既に発表されているが、地域統計の発表が遅れている。公表されている府県についてみると、大阪府の 2018 年 1 月の現金給与総額は前年同月比+2.1%(8

カ月連続)、兵庫県が同+1.6%(6 カ月連続)と増加した。一方、奈良県は同-3.5%(14 カ月ぶり)、和歌山県は同-0.8%(2 カ月連続)とそれぞれ減少した。ウェイトの高い大阪府・兵庫県で伸びており、所得環境には一定の改善が見られる。一方、昨年 12 月以降、消費者物価指数(持ち家の帰属家賃を除く総合)は前年比で 1%を超える伸びが続いており、実質現金給与総額(実質賃金)の伸びは停滞している。先行きには依然注意が必要である。

全国 2 月の現金給与総額(確報値)をみると、前年同月比+1.0%増加し、7 カ月連続の改善。内訳をみると、所定内給与は同+0.6%と 11 カ月連続の増加。所定外給与は同+0.4%と 4 カ月連続の増加。特別給与は同+25.7%と 7 カ月連続で増加した。一方、実質現金給与総額(実質賃金)は、物価上昇の影響から同-0.8%と 3 カ月連続で減少した。

現金給与総額の推移(2010 年 1 月～2018 年 2 月)



(注)関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)は APIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011 年平均)で加重平均。

(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」、総務省「消費者物価指数」より作成

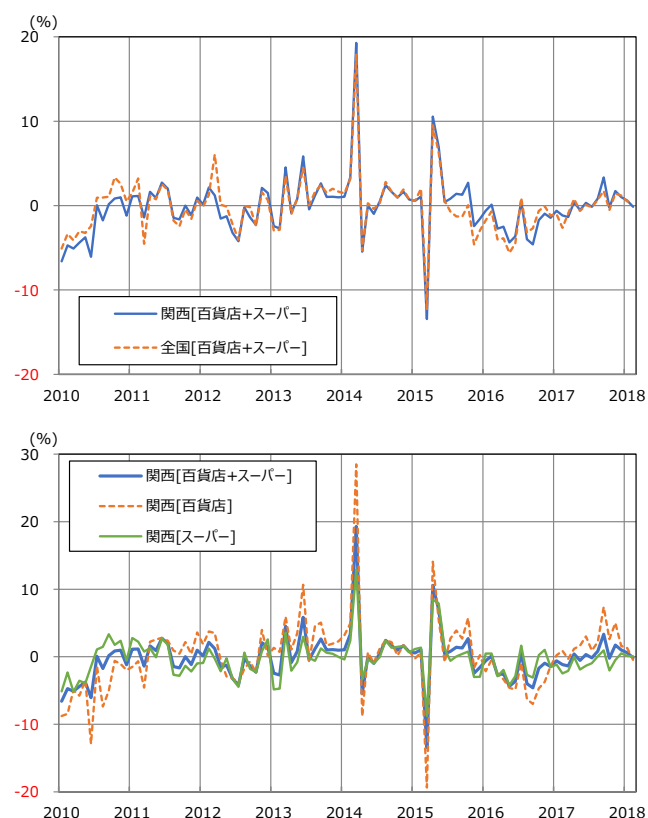
(2) 大型小売店販売額

関西 2 月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は 2,863 億円となり、前年同月比-0.1%と 4 カ月ぶりのマイナス。うち、百貨店は同-0.4%と、11 カ月ぶりのマイナス。悪天候と冬季オリンピック開催による外出の手控えによる客数の減少と、春物衣料需要の低下が影響し

たため。なお、関西の百貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、2月は同+42.6%(1月:同+60.6%)と16カ月連続の増加。インバウンドによる売り上げは好調である。また、スーパーは同+0.1%と3カ月連続のプラス。引き続き野菜価格が高騰し、農産品単価を押し上げているため。

全国2月の大型小売店販売額(全店ベース)は1兆4,565億円、前年同月比+0.5%と4カ月連続のプラスであった。うち、百貨店は同-1.5%と3カ月連続のマイナス。一方、スーパーは同+1.5%と4カ月連続のプラス。なお、小売業販売額(季節調整済指数、後方3カ月移動平均)は前月比-0.1と7カ月ぶりに低下した。経済産業省は基調判断を「緩やかに持ち直している」と前月から据え置いた。

大型小売店販売額の推移(2010年1月~2018年2月)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

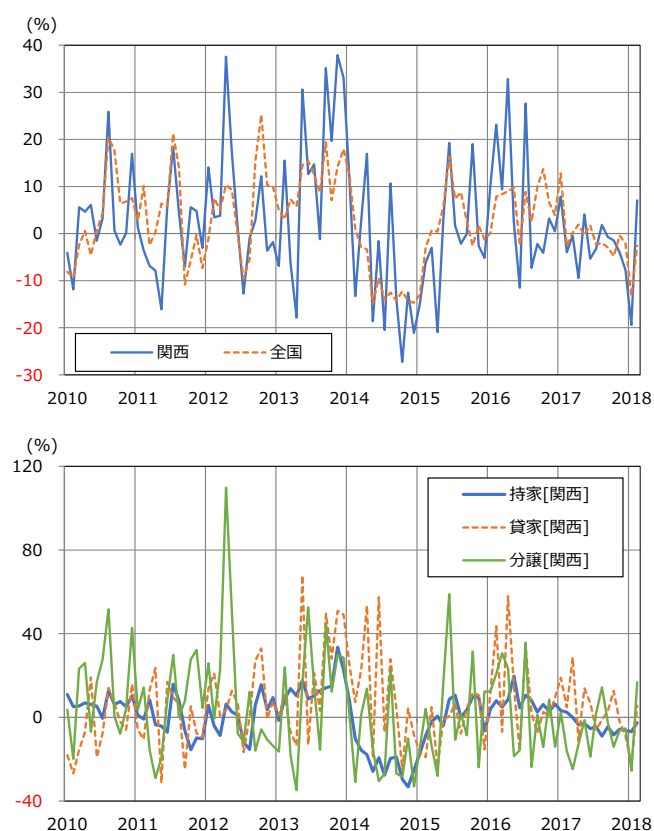
(3) 新設住宅着工の動向

関西2月の新設住宅着工戸数は11,387戸と前年同月比+7.0%と、前月(同-19.4%)から増加に転じた。6カ月ぶりのプラス。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は減少が続いているが、貸家と分譲はいずれも増加に転じた。持家は2,669戸で前年同月比-2.6%と12カ月連続で減少が続いている。一方、貸家は4,835戸で同+5.6%と4カ月ぶりの増加。分譲も3,838戸で同+16.8%と大幅増加し、6カ月ぶりのプラス。2月は分譲の急増により、全体が押し上げられた。

全国の同月の新設住宅着工戸数は69,071戸と前年同月比-2.6%減少し、8カ月連続のマイナス。利用関係別にみると、持家は20,013戸で同-6.1%と2カ月ぶりの減少。貸家は29,420戸で同-4.6%と9カ月連続の減少。一方、分譲は19,023戸で同+3.4%と3カ月ぶりの増加となった。

新設住宅着工戸数の推移(2010年1月~2018年2月)



(出所) 国土交通省「建築着工統計」

関西3月のマンション契約率は67.1%(季節調整値:APIR 推計)。前月(84.9%)と比べて-17.8%ポイントと大幅に低下した。5カ月ぶりのマイナスで、22カ月ぶりに好不調の目安となる70%を下回った。契約率が低下していることから、先行きは楽観できない。

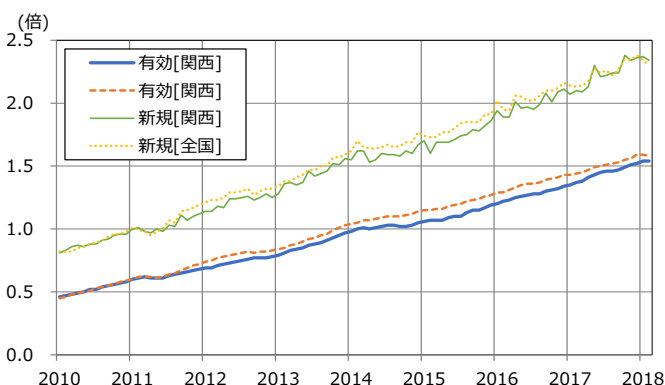
一方、同月の首都圏のマンション契約率は73.0%(季節調整値:APIR 推計)と前月比+9.5%ポイント上昇し、3カ月ぶりの改善。大型物件の供給もあり、3カ月ぶりに契約率は70%を上回った。

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

関西2月の有効求人倍率(季節調整値、受理地別)は、1.54倍で前月比横ばい。内訳をみると、有効求人数が同-1.0%、有効求職者数が同-0.8%とそれぞれ減少した。労働需給バランスは依然として引き締まった状態が続いている。府県別では、兵庫県が1.38倍で同+0.02ポイント、滋賀県が1.37倍で同+0.01ポイント上昇した。一方、京都府は1.56倍で同横ばい、和歌山県は1.29倍で同-0.05ポイント、大阪府は1.69倍で同-0.01ポイント、奈良県は1.39倍で同-0.01ポイントそれぞれ下落した。

求人倍率(受理地別)の推移(2010年1月~2018年2月)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(下表も同様)

関西2府4県有効求人倍率(2018年1-2月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1月	1.59	1.54	1.36	1.56	1.70	1.36	1.40	1.34
2月	1.58	1.54	1.37	1.56	1.69	1.38	1.39	1.29
前月差	▲0.01	0.00	0.01	0.00	▲0.01	0.02	▲0.01	▲0.05

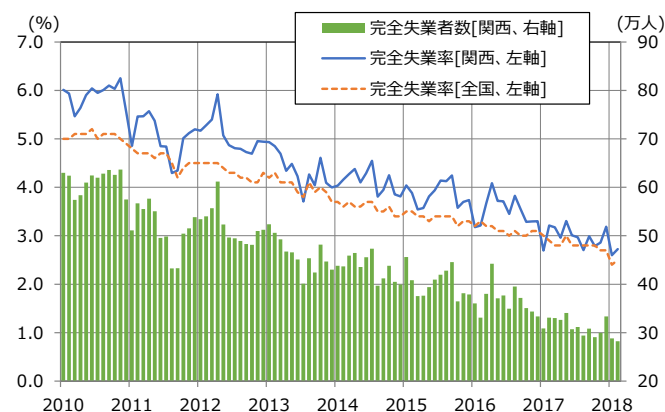
また、関西2月の新規求人倍率は、2.34倍で前月比-0.03ポイントと小幅低下し、3カ月ぶりに悪化した。しかし、新規求人数が同+1.6%(2カ月ぶり)、新規求職者数も同+2.6%(2カ月ぶり)に増加しており、企業の採用意欲は強く、雇用情勢は堅調とみられる。

全国2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.58倍と前月比-0.01ポイント小幅低下し、2012年9月以来5年5カ月ぶりに悪化したものの、高水準であることに変わりはない。また、新規求人倍率は2.30倍で同-0.04ポイント低下し、2カ月連続で悪化した。

(2) 完全失業率の推移

関西2月の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は2.7%と前月比+0.1%ポイント小幅上昇し、2カ月ぶりに悪化した。しかし、内訳をみると、前月に続き労働力人口と就業者数の増加がみられることから、雇用環境は引き続き堅調といえよう。また、完全失業者数(季節調整値:APIR 推計)は28.2万人で前月から-0.6万人と2カ月連続で減少した。

完全失業率の推移(2010年1月~2018年2月)



(出所) 総務省「労働力調査」

全国2月の完全失業率(季節調整値)は2.5%と、前月比+0.1%ポイント小幅上昇し、2カ月ぶりの悪化だが、2%台の低水準が続いている。完全失業者数(季節調整値)は169万人で前月から+9万人増加した(5カ月ぶり)。理由別にみると、「非自発的な離職」は同-2万人減少、「自発的な離職(自己都合)」が同+5万人増加、「新たに求職」は同

+6万人であった。

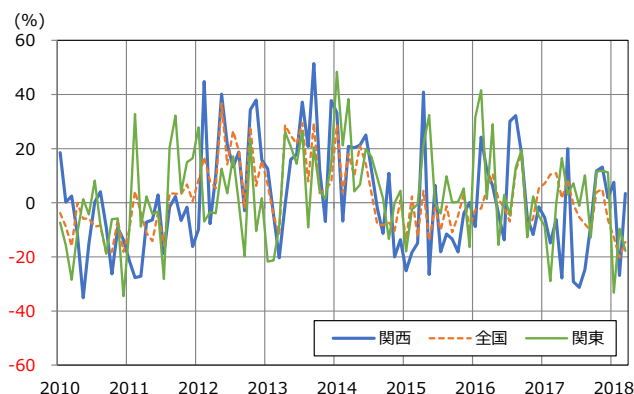
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

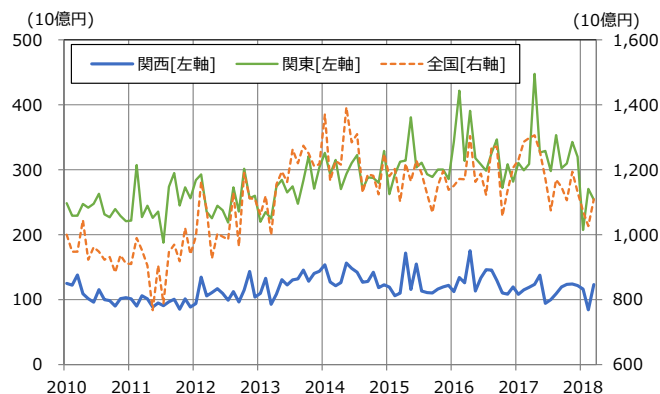
関西3月の公共工事請負金額は1,222億円で前年同月比+3.4%と2カ月ぶりに増加した。全国は1兆2,697億円で同-14.5%と4カ月連続の減少。関東は3,035億円で同-17.8%と3カ月連続の減少であった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は前月比+46.3%と大幅増加し、4カ月ぶりのプラス。全国は同+8.0%とこちらも4カ月ぶりのプラスであった。結果、1-3月期関西の公共工事請負金額は、前期比+2.9%増加し、2四半期連続のプラス(10-12月期:同+7.1%)。全国は、同-0.7%小幅減少し、2四半期ぶりのマイナス(10-12月期:同+0.9%)。関西の公共工事請負金額は全国と比して、持ち直しが見られる。

公共工事請負金額(伸び率)の推移(2010年1月～2018年3月)



公共工事請負金額(季調値)の推移(2010年1月～2018年3月)



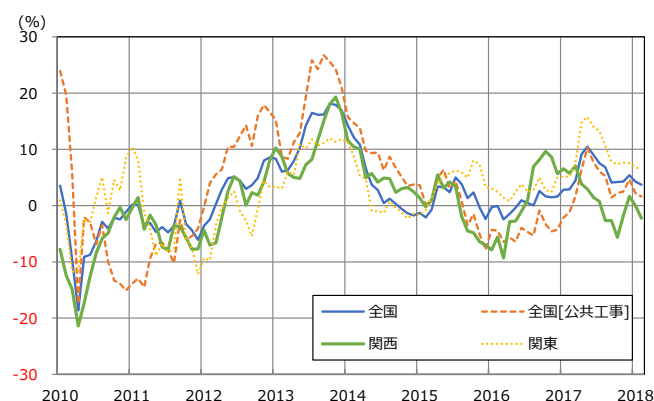
(出所)東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西2月の建設工事出来高は5,702億円となり、前年同月比-2.2%と、3カ月ぶりのマイナス。関東は1兆7,398億円で、同+6.3%と、2015年3月以来、36カ月連続で増加が続いている。関東ではオリンピック・パラリンピックの影響もあり、2018年に入っても増加が続いている。それに対して、関西の伸びは低調である。

全国2月の建設工事出来高は4兆8,088億円となり、前年同月比+3.7%と、2016年6月以来、21カ月連続で増加しているが、伸びは減速している。うち、公共工事は2兆411億円で同+1.6%と12カ月連続で増加が続いているが、伸びは低調である。

建設工事出来高の推移(2010年1月～2018年2月)



(注) 2016年4月分より新推計に基づく出来高の参考値を反映。

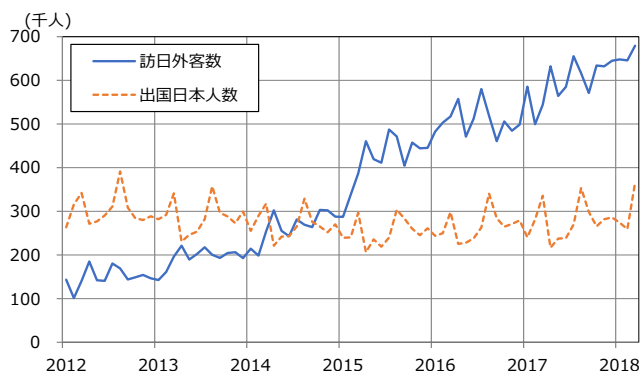
(出所)国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

3月の関空への訪日外客数は67万9,160人となり、前年同月比+24.8%と13カ月連続で増加した。また、12カ月連続で2桁増加が続いている。出外国人数は62万8,250人と同+26.5%増加した。結果、外国人旅客総合数(出入国合計)は130万7,410人と同+25.6%増加した。また、出国日本人数は36万4,890人で、同+8.7%と2カ月ぶりに増加した。訪日外客数、出国日本人数ともに増加しており、好調である。

訪日外客数と出国日本人数の推移(2012年1月～2018年3月)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

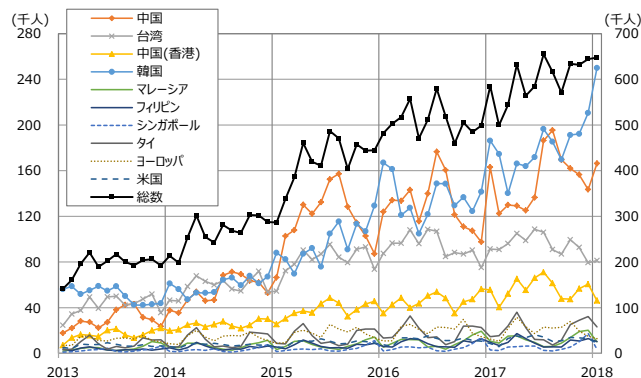
(2) 地域別訪日外客数

関空訪日外客数を国籍別・地域別にみると、1月は韓国からの入国者数が24万9,823人(前年同月比+34.2%)と5カ月連続で最多となったことに加え、単月としても過去最高を更新し、伸びも11カ月連続で2桁増が続いている。次いで、中国(香港除く)が16万6,263人(同+2.0%)、台湾が8万1,282人(同-11.1%)、香港が4万6,213人(同-16.9%)であった。

他のアジア各国からは、タイが2万3,242人(前年同月比+58.6%)、フィリピンが1万425人(同+8.7%)、マレーシアが1万191人(同-4.3%)、シンガポールが3,718人(同+21.0%)であった。

他地域を見ると、ヨーロッパでは1万2,943人(前年同月比+2.2%)、米国が9,197人(同+6.5%)であった。

地域別訪日外客数(右軸：総数、左軸：各国、2018年1月まで)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

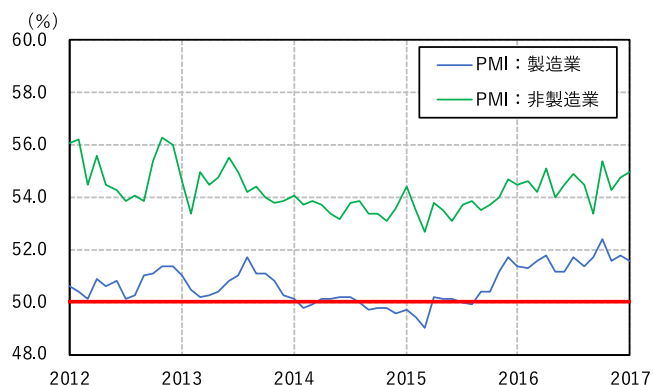
【中国景気モニター】

(1) センチメント

3月の製造業の購買担当者景況指数(PMI)は51.5となり、前月から+1.2%ポイントと4カ月ぶりの改善。また、20カ月連続で景気分岐点の50を上回っている。非製造業PMIは54.6となり、前月から+0.2%ポイント上昇した。2カ月ぶりの改善であった。春節が終わり、生産動向には再び回復傾向がみられる。

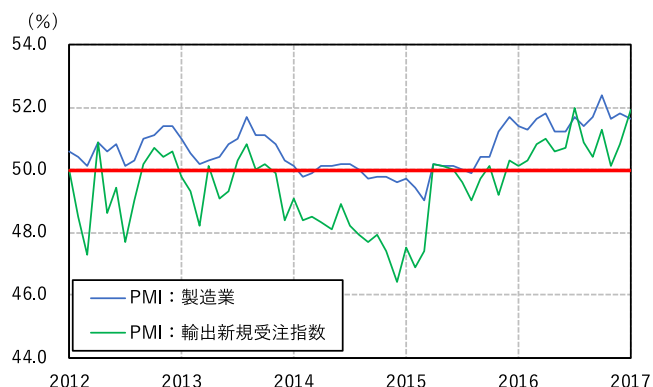
製造業 PMI のうち、生産指数は 53.1 となり、前月比 +2.4%ポイント上昇し、4 カ月ぶりの改善。輸出新規受注指数は51.3 となり、同+2.3%ポイント上昇し、3 カ月ぶりの改善。また、3 カ月ぶりに 50 を超えた。雇用指数は49.1 となり、同+1.0%ポイント上昇し、8 カ月ぶりの改善であった。

製造業・非製造業購買担当者景況指数(2013年3月～2018年3月)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

製造業購買担当者景況指数(2013年3月～2018年3月)



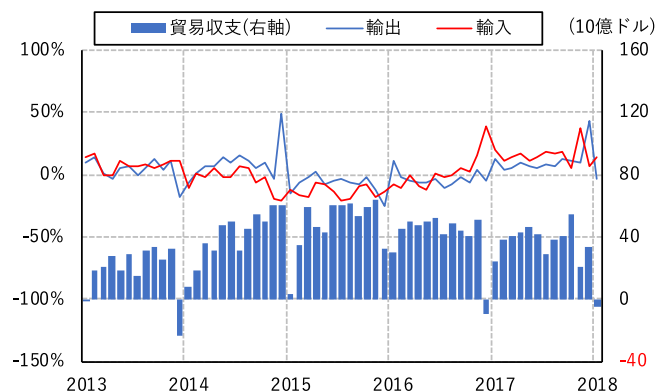
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 貿易動向

3月の貿易収支は-49.8億ドルとなり、13カ月ぶりの赤字となった。輸出額(速報値, ドル・ベース)は1,741.2億ドルとなり、前年同月比-3.6%と13カ月ぶりの減少。輸入額は1,791.0億ドルとなり、同+14.3%と17カ月連続で増加したためである。

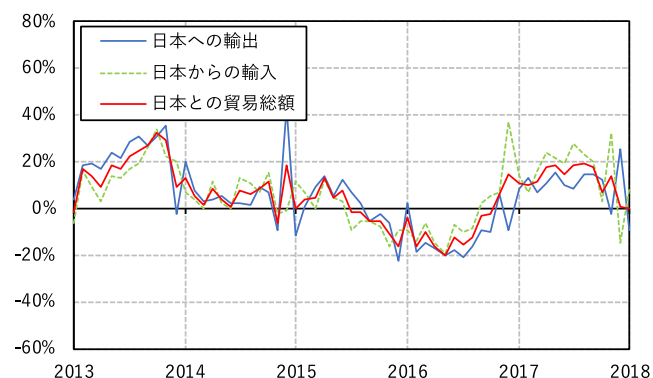
また、対日貿易収支は-47.5億ドルとなり、14カ月連続の赤字となった。対日輸出額は116.4億ドルとなり、前年同月比-3.7%と13カ月ぶりの減少。対日輸入額は163.9億ドルとなり、同+16.0%増加し、2カ月ぶりの増加。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同-9.7%縮小し、2カ月ぶりの減少。また、対日輸入額は同+8.8%と拡大し、2カ月ぶりの増加。

中国の貿易動向(ドル・ベース, 2013年3月~2018年3月)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易(円ベース, 2012年12月~2017年12月)



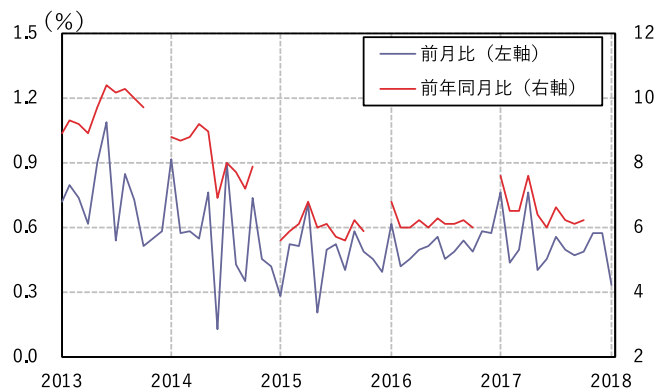
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 工業生産

3月の工業生産は前月比+0.33%となり、伸びは前月から-0.24%ポイント低下し、4カ月ぶりの減速。また、前年同月比+6.0%と伸びは昨年12月から-0.2%ポイント低下した。

産業別に見ると、パソコン・通信設備製造業(前年同月比+12.8%)、専用設備製造業(同+11.4%)、医薬製造業(同+9.8%)などが高い伸びを示す一方で、金属製品製造業(同+2.8%)、ゴム・プラスチック製品製造業(同+2.7%)、繊維工業(同+0.8%)などは、比較的低調な伸びにとどまった。また、非金属鉱物製品製造業(同-0.8%)は減産となった。

工業生産指数(2013年3月~2018年3月)



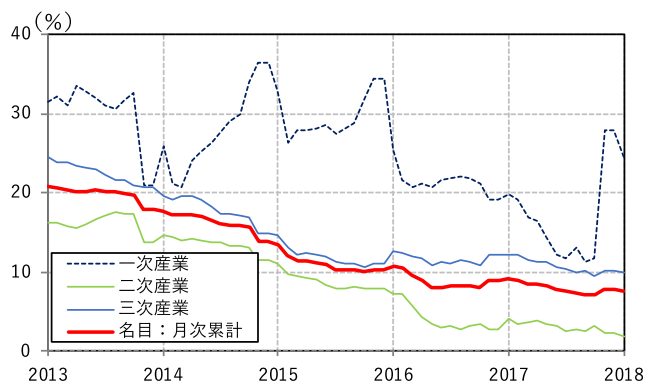
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 固定資産投資

1-3月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+7.5%となり、1-2月期(同+7.9%)より-0.4%ポイント低下した。

1-3月期を産業別に見ると、第1次産業は前年同期比+24.2%増加したが、伸びは前月から-3.6%ポイント低下した。第2次産業は同+2.0%となり、伸びは前月から-0.4%ポイント低下。第3次産業は同+10.0%と伸びは前月から-0.2%ポイント低下した。

固定資産投資(産業別)累積伸び率(2013年3月~2018年3月)

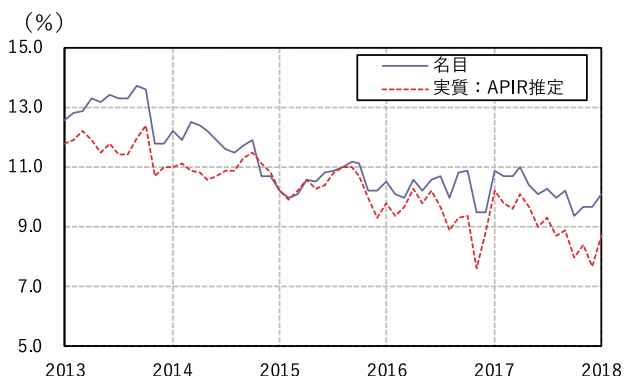


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 消費

3月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.1%となり、伸びは前月から+0.4%ポイント上昇した。また、社会消費品小売総額の実質値(APIR 推計)をみると、伸びは同+8.7%となり、前月から-1.0%ポイント下落した。

社会消費品小売総額(2013年3月~2018年3月)

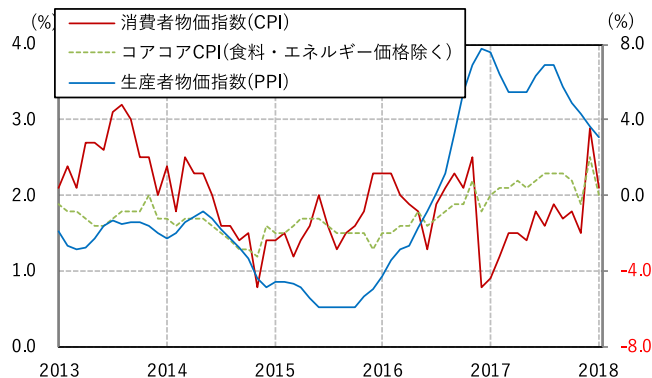


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(6) 物価水準

3月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+2.1%で、前月から-0.8%ポイント低下した。2カ月ぶりの減速。また、生産者物価指数(PPI)は同+3.1%となり、インフレ率は前月から-0.6%ポイント低下し、5カ月連続で減速が続いている。

消費者物価指数・生産者物価指数(2013年3月~2018年3月)

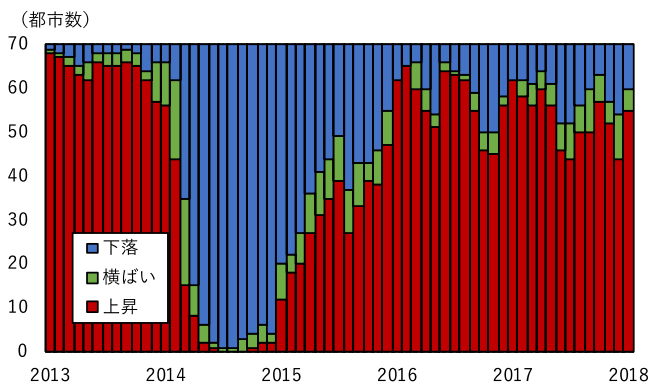


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(7) 不動産市場

3月の不動産市場は前月よりやや回復した。不動産価格(新築住宅価格)をみると、中国主要70都市のうち、上昇した都市数は55で前月から11都市増加した。一方、下落した都市数は10で前月から6都市減少した。また、横ばいの都市数は5で前月から5都市減少した。

新築住宅価格の主要都市集計(2013年3月~2018年3月)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

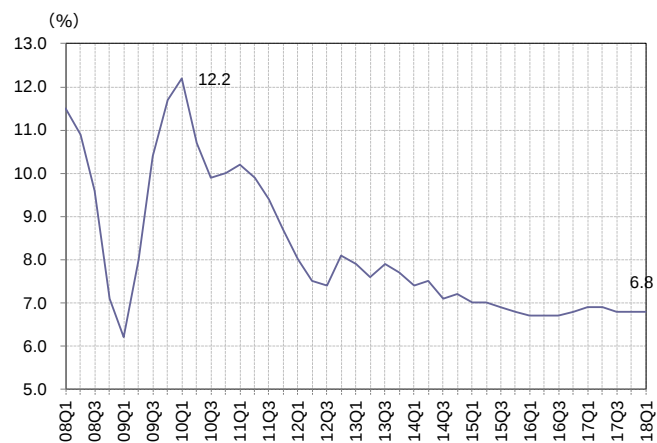
(8) GDP

1-3月期の実質GDP成長率は、前年同期比+6.8%となり、2017年7-9月期以来、3四半期連続で同じ伸びとなった。結果、2018年の政府目標である6.5%成長を上回った。

産業別に見ると、第一次産業の成長率は前年同期比+3.2%、伸びは前期から-1.2%ポイント下落し、5四半期ぶりの減速。第二次産業は同+6.3%で、前期から+0.6%ポイント

ント上昇し、4 四半期ぶりの加速。第三次産業は同+7.5%となり、前期から-0.8%ポイント下落し、3 四半期ぶりの減速。

実質 GDP 成長率の推移(2008 年 Q1～2018 年 Q1)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 木下祐輔・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰

Tel. 06-6485-7694

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	17/2M	17/3M	17/4M	17/5M	17/6M	17/7M	17/8M	17/9M	17/10M	17/11M	17/12M	18/1M	18/2M	18/3M
景況感														
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	49.7	48.7	48.4	50.4	51.7	52.2	51.2	51.8	53.3	55.2	56.2	52.4	50.7	50.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	50.3	49.0	49.7	51.2	51.6	49.7	50.6	49.6	55.6	51.7	49.9	53.4	51.0	52.3
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	48.8	47.9	48.5	49.1	50.0	49.9	50.0	51.1	52.0	54.1	53.9	49.9	48.6	48.9
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	50.2	48.5	49.5	50.0	50.5	50.5	51.2	51.1	54.5	53.4	52.7	52.4	51.4	49.6
消費者心理・小売														
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.7	43.1	43.1	43.0	43.2	43.2	43.2	43.1	43.6	43.8	43.4	44.4	43.2	42.9
[関西]「暮らし向き」(原数値)	40.2	41.4	41.2	42.0	41.3	41.0	41.0	41.7	41.7	41.9	40.9	42.2	40.6	40.6
[関西]「収入の増え方」(原数値)	39.7	41.0	41.4	42.4	41.6	41.2	41.8	41.8	41.8	41.9	41.0	42.7	41.8	41.1
[関西]「雇用環境」(原数値)	44.8	46.9	47.9	46.4	47.9	47.6	47.6	45.9	47.9	48.2	49.1	49.3	48.2	48.5
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	42.2	42.9	41.8	41.3	41.8	42.9	42.5	42.8	43.0	43.3	42.7	43.4	42.2	41.3
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	43.2	43.9	43.2	43.6	43.3	43.8	43.3	43.9	44.5	44.9	44.7	44.7	44.3	44.3
[関西]大型小売店販売額(10億円)	286.6	313.8	304.4	309.0	304.9	339.1	305.4	293.8	310.3	329.4	410.6	332.9	286.3	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-1.2	-1.4	0.4	-0.5	0.3	-0.1	0.8	3.4	-0.2	1.7	1.0	0.6	-0.1	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,449.3	1,631.2	1,558.3	1,588.1	1,569.4	1,717.9	1,565.5	1,496.8	1,588.9	1,671.3	2,092.1	1,682.6	1,456.5	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-2.6	-0.9	0.8	-0.6	0.1	-0.2	0.7	1.8	-0.5	1.4	1.2	1.2	1.2	UN
住宅・建設														
[関西]新設住宅着工(戸数)	10,639	11,795	11,812	11,115	12,002	12,601	11,790	11,354	12,164	11,764	10,224	9,196	11,387	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-4.0	-0.4	-9.5	4.1	-5.4	-3.3	1.8	-0.7	-1.5	-4.0	-7.7	-19.4	7.0	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	70,912	75,887	83,979	78,481	87,456	83,234	80,562	83,128	83,057	84,703	76,751	66,358	69,071	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	-2.6	0.2	1.9	-0.3	1.7	-2.3	-2.0	-2.9	-4.8	-0.4	-2.1	-13.2	-2.6	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	75.4	73.0	77.6	76.5	77.6	71.7	78.2	76.6	75.6	76.9	78.6	81.9	84.9	67.1
[関西]マンション契約率(原数値)	74.5	73.3	78.2	79.9	80.2	73.6	80.0	74.5	74.2	77.7	74.9	78.1	83.9	67.3
[全国]マンション契約率(季節調整値)	66.8	64.6	66.6	78.4	65.2	66.4	68.6	66.8	65.7	68.1	74.0	68.1	63.5	73.0
[全国]マンション契約率(原数値)	68.4	66.2	66.3	79.9	67.2	71.9	68.2	64.9	60.7	67.9	72.5	65.2	65.0	74.7
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	68.1	118.1	201.8	147.3	122.4	120.3	102.7	139.4	129.9	85.4	97.5	65.4	49.8	122.2
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-14.9	-6.2	-27.8	20.0	-29.2	-31.3	-24.7	-8.1	11.7	13.2	1.8	7.5	-26.9	3.4
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	769.3	1,485.9	2,064.6	1,242.1	1,518.5	1,288.8	1,149.4	1,319.1	1,171.2	863.3	797.3	610.1	613.9	1,269.7
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	10.4	10.9	1.7	8.5	-0.6	-5.4	-7.9	-10.4	3.9	5.0	-6.4	-12.8	-20.2	-14.5
[関西]建設工事(総合、10億円)	583.1	557.2	470.9	465.1	483.7	500.3	516.6	536.8	547.9	586.5	608.9	589.9	570.2	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	5.7	7.1	3.9	2.9	1.5	0.8	-2.6	-2.7	-5.6	-1.8	1.6	0.0	-2.2	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,636.8	4,607.2	3,902.3	3,903.1	4,095.9	4,241.2	4,471.7	4,689.1	4,902.6	4,970.9	5,054.8	4,929.2	4,808.8	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	2.9	4.5	9.1	10.5	9.0	7.5	6.8	4.1	4.2	4.3	5.4	4.3	3.7	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2,008.4	2,036.8	1,450.6	1,428.6	1,505.1	1,568.4	1,711.7	1,876.0	2,043.9	2,085.1	2,164.5	2,094.8	2,041.1	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	-1.2	1.7	6.4	10.3	7.7	6.1	5.3	1.4	2.2	2.5	4.6	2.2	1.6	UN
生産														
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	108.0	107.7	110.2	105.7	108.1	106.7	110.9	103.4	105.7	108.9	110.7	103.2	105.3	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	2.1	-0.3	2.3	-4.1	2.3	-1.3	3.9	-6.8	2.2	3.0	1.7	-6.8	2.1	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	4.2	0.9	4.6	3.8	5.4	2.3	6.2	-3.6	0.1	1.6	1.3	1.7	-1.5	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	-2.6	-1.0	3.0	3.0	1.4	3.7	3.6	2.9	7.8	10.2	9.7	8.0	5.4	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	103.6	105.2	106.2	103.3	106.0	103.7	107.9	100.5	102.2	107.8	108.3	101.2	103.4	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	2.3	1.5	1.0	-2.7	2.6	-2.2	4.1	-6.9	1.7	5.5	0.5	-6.6	2.3	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	115.5	117.5	122.9	124.3	122.0	122.9	124.0	124.3	124.9	121.2	122.9	124.3	121.7	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	0.3	1.7	4.6	1.1	-1.9	0.7	0.9	0.2	0.5	-3.0	1.4	1.1	-1.0	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	101.7	99.8	103.8	100.1	102.3	101.5	103.5	102.5	103.0	103.5	106.5	99.3	102.7	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	3.2	-1.9	4.0	-3.6	2.2	-0.8	2.0	-1.0	0.5	0.5	2.9	-6.8	2.0	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	3.7	3.5	4.9	5.4	5.3	4.1	5.8	1.5	2.7	2.3	4.2	2.0	0.7	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	-3.9	-4.0	-1.1	-1.3	-2.9	-2.3	-2.9	-2.4	2.0	3.0	2.1	1.4	1.6	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	99.2	98.4	101.1	98.2	100.7	100.0	101.8	99.3	98.9	101.2	104.1	98.2	100.3	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	1.4	-0.8	2.7	-2.9	2.5	-0.7	1.8	-2.5	-0.4	2.3	2.9	-5.7	1.6	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	108.1	109.7	111.3	111.3	109.1	107.9	107.3	107.3	110.7	109.8	109.5	108.9	109.9	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	0.7	1.5	1.5	0.0	-2.0	-1.1	-0.6	0.0	3.2	-0.8	-0.3	-0.5	0.5	UN
労働														
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.1	0.6	0.4	0.7	1.9	0.2	1.4	2.1	1.4	1.3	1.7	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.4	0.5	-0.1	0.6	1.6	0.3	1.6	2.2	1.6	1.4	1.9	UN	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.4	0.0	0.5	0.6	0.4	-0.6	0.7	0.9	0.2	0.9	0.9	1.2	1.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.2	3.2	3.0	3.3	3.0	3.0	2.7	3.0	2.8	2.9	3.2	2.6	2.7	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.3	3.2	2.9	3.2	3.0	3.1	2.9	3.2	2.8	2.6	2.8	2.7	2.8	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	2.9	2.8	2.8	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	2.10	2.09	2.13	2.30	2.21	2.22	2.24	2.24	2.38	2.34	2.36	2.37	2.34	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.13	2.14	2.17	2.28	2.24	2.26	2.22	2.27	2.35	2.34	2.38	2.34	2.30	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.37	1.38	1.41	1.43	1.45	1.46	1.46	1.47	1.49	1.51	1.52	1.54	1.54	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.44	1.45	1.47	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	UN
国際貿易														
[関西]純輸出(10億円)	356.1	222.3	174.7	94.2	172.4	135.1	161.9	249.8	160.1	162.8	256.1	-53.9	134.2	368.5
[関西]輸出(10億円)	1,353.6	1,476.5	1,335.5	1,239.5	1,383.9	1,329.4	1,382.4	1,482.4	1,425.3	1,520.4	1,589.4	1,303.4	1,353.3	1,606.8
[関西]輸出(前年同月比%)	12.8	10.4	5.9	12.4	8.0	10.8	17.4	17.3	14.4	21.5	12.0	19.5	0.0	8.8
[関西]輸入(10億円)	997.5	1,254.2	1,160.8	1,145.2	1,211.5	1,194.3	1,220.5	1,232.6	1,265.2	1,357.6	1,333.4	1,357.3	1,219.1	1,238.3
[関西]輸入(前年同月比%)	-6.0	12.3	11.2	13.3	14.3	16.9	12.7	11.1	20.8	15.5	18.0	5.5	22.2	-1.3

注：鉱工業生産 輸送機械工業は銅船・鉄道車両除く。

Release Calendar for March/April

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
26-Mar 出入国管理統計 (1月)	27-Mar	28-Mar	29-Mar 商業動態統計 (2月:速報値)	30-Mar 全国鉱工業生産指数 (2月:速報値) 建築着工統計 (2月) 職業安定業務統計 (2月) 労働力調査 (2月)
2-Apr	3-Apr	4-Apr	5-Apr	6-Apr 毎月勤労統計調査 (1月:確報値) 毎月勤労統計調査 (2月:速報値)
9-Apr 景気ウォッチャー調査 (3月) 消費動向調査 (3月) 中国製造業 PMI (3月)	10-Apr 近畿鉱工業生産指数 (2月:速報値) 近畿貿易統計 (1月:確報) 近畿貿易統計 (2月:確速)	11-Apr	12-Apr	13-Apr 商業動態統計 (2月:確報値) 公共工事前払金 保証統計(3月)
16-Apr 近畿圏マンション 市場動向(3月)	17-Apr 全国鉱工業生産指数 (2月:確報値) 建設総合統計 (2月)	18-Apr 全国貿易統計 (3月:速報) 近畿貿易統計 (3月:速報) 中国消費品小売 (物価指数:2月)	19-Apr 中国輸出入 (3月:速報値)	20-Apr 毎月勤労統計調査 (2月:確報値) 関西国際空港の出入 (帰)国者数(3月)
23-Apr 中国工業生産 (3月) 中国消費小売総額 (3月) 中国固定資産投資 (3月) 中国不動産市場 (3月)	24-Apr 近畿鉱工業生産指数 (2月:確報値) 中国 GDP (1-3 月期)	25-Apr 出入国管理統計 (2月)	26-Apr 全国貿易統計 (3月:確速)	27-Apr 商業動態統計 (3月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (3月:速報値) 建築着工統計 (3月) 職業安定業務統計 (3月) 労働力調査 (3月)